



第14回 アジア太平洋災害医学会

国際災害医療 県民フォーラム

～神戸・ひょうごから世界に向けて～

The 14th Asia Pacific Conference on Disaster Medicine
Public Forum on International
Disaster Medicine

～From Hyogo, Kobe to the World～

主催：第14回アジア太平洋災害医学会組織委員会



平成30年 **10月16日(火)** 9:00～18:30

会場：シーサイドホテル舞子ビラ2F 六甲1,あじさいホール

会議URL：<http://apcdm2018.org/index.html>

※上記プログラムは**同時通訳**で聴講可能です。※**参加費はお一人1,000円**となります。当日、第14回アジア太平洋災害医学会受付でお申込用紙にご記入の上、参加費をお支払い下さい。※事前申込みは不要です。※全プログラム出入り自由です。※定員300名

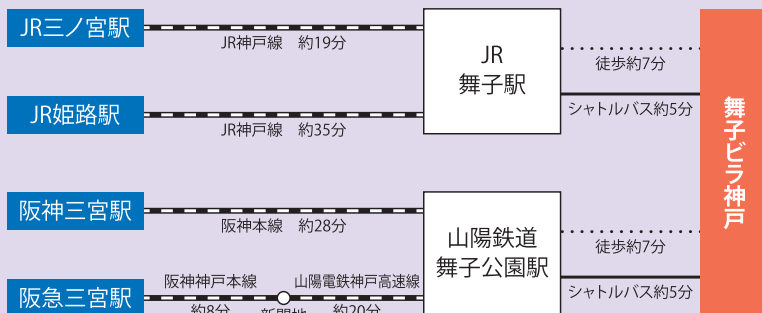
この会議は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて開催しています。



各主要駅からのアクセス

- JR三ノ宮駅から JR神戸線 約19分
- JR姫路駅から JR神戸線 約35分

※JR舞子駅、山陽電鉄舞子公園駅からのホテルシャトルバスのタイムテーブルは、舞子ビラホームページでご確認下さい。
※JR舞子駅からのシャトルバスの増発を予定しております。詳細は会議URLにてお知らせいたします。



※お問い合わせ先：兵庫県災害医療センター事務局 078-241-3131 (代)

プログラム

10月16日(火) 9:00~18:30

会場：シーサイドホテル舞子ビラ2階「六甲1」「あじさいホール」

開会式

9:00 来賓挨拶：兵庫県副知事
? 太田 宗夫(東洋医療専門学校長) 山本 保博(医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長)
9:30 S. ウィリアム・ガン(アジア太平洋災害医学カンファレンス名誉理事)

大会長挨拶

9:30 中山 伸一
? (兵庫県災害医療センター長)
10:15

特別講演

10:30 "More surgeons are needed in response to disasters"
? 「災害現場における外科医の必要性について」
11:00 S. ウィリアム・ガン(アジア太平洋災害医学カンファレンス名誉理事)

シンポジウム①

SIP プログラム
"How to protect lives from disasters"
- Products from Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program (SIP)
sponsored by Cabinet Office of Japan-
「災害から身を守るために-戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)-」
11:15 ?
12:45 1. SIP紹介：堀 宗夫(東京大学地震研究所)
2. 府省庁連携防災情報共有システムSIP4D：白田 裕一郎(防災科学技術研究所(NIED)) / 花島 誠人(防災科学技術研究所(NIED))
3. DMATによる災害医療活動の現状と課題、解決の方向性：近藤 久禎(国立病院機構災害医療センター)
4. 人工知能により新たな災害時の保険医療活動の現実：金谷 泰宏(国立保健医療科学院)
5. スマホシステムを用いた津波避難システム：矢守 克也(京都大学防災研究所)、李 フシン(京都大学防災研究所)

基調講演

14:15 ?
15:00 ポール・ファレル
(世界災害救急医学会(WADEM)次期理事長)

シンポジウム②

WKC(WHO神戸センター)フォーラム(1)
"Global Action for Scientific Evidence Improvement in Health Emergency and Disaster Risk Management
-Expected Contribution from Asia and Pacific Region-"
「健康・災害リスク管理における科学的進歩へのグローバルな取り組み-アジア太平洋地域へ期待されること」
15:15 ?
16:45 開会挨拶：サラ・ルイーズ・バーバー(WHO神戸センター)、中山 伸一(兵庫県災害医療センター)
講演：ジョナサン・アブラハムズ(WHO本部)、バージニア・ムレイ(イングランド公衆衛生サービス(PHE))、
エミリー・チャン(香港中文大学)、テオドーロ・J・ヘルボーサ(フィリピン大学)、久保 達彦(産業医科大学)、
プーミン・シラブント(タイ王国 チュラポーン病院)
WKC(WHO神戸センター)フォーラム(2)
災害時健康危機管理の研究における主要領域と最新活動
パート1：日本における災害発生時のヘルスサポートシステムとデータ管理システム
講演：大友 康裕(東京医科歯科大学)、渡 路子(災害派遣精神医療チーム(DPAT)事務局)、尾島 俊之(浜松医科大学)、江川 新一(東北大学)
17:00 ?
18:30 パート2：災害発生後のこころのケア
金 吉晴(国立精神・神経医療研究センター)、メリッサ・ジェネルー(シャープブルック大学)、
増野 園恵(兵庫県立大学)、高田 洋介(岡山大学)
閉会挨拶：ヘザー・パポウィッツ(WHO西太平洋地域事務局)、ニレシュ・ブドゥ(WHO南東アジア地域事務局)